

## 大分市のご紹介

本市は県庁所在地として、商業、教育、医療、行政などの都市機能の集積が進んでおり、現在の人口は約48万人で、大分県の人口の約4割を占めています。



別府市

### 大分地区



大分地区は大分市の中心地区であり、多くの公共施設や商業施設が集積しています。JR大分駅の高架化に伴い、新たな商業施設が開業するとともに、多くの飲食店や情報通信関連企業が開業し、市内中心部は活気に満ちています。



由布市

今市石畳

豊後大野市

### 野津原地区



野津原地区は森林面積が全体の77.7%と広大な自然に恵まれた中山間地域であり、水と緑によって形成された自然環境、自然景観に恵まれた地域です。令和元年度にななせダムが完成し、地域の活性化につながっています。

### 稲田地区



稲田地区は市街地から通じる主要な街路として国道10号、国道210号などの交通体系が整備されており、大分大学や大型商業施設が立地するとともに、地区別人口においては、8万人(総人口の約17%)を超えており、賑わいのあるまちづくりが進められています。

### 大南地区



大南地区は南北に国道10号が縦貫し、その東西には農地が広がっています。市内でも有数の農業地区であり、ニラやごぼう、ゆずの生産地となっています。また、江戸時代末期の町並みがそのまま残る戸次本町の町並みは市民の誇りとなっています。

### 明野地区



明野地区は、昭和36年に大分鶴崎臨海工業地帯に進出する企業の社宅用地として開発され、以降関連企業の進出に伴い、社宅、分譲住宅などが年々建設されてきた一大団地です。近年は保育所や医療機関などの社会インフラの整備に加え、大型ショッピングセンターが建設されるなど、生活環境の整った地区として現在に至っています。

### 坂ノ市地区



坂ノ市地区は昭和53年から始まった土地区画整理事業により、JR坂ノ市駅を中心に計画的な市街地が形成され、新しい街づくりの基盤が完成しています。内陸部には旭化成メディカル(株)やTOTOアクアテクノ(株)が立地するとともに、大分県により大分流通業務団地が整備され、多くの流通関連企業が進出しています。

### 大在地区



大在地区の北部は、大在公共埠頭として整備され、令和元年からRORO船航路が2航路、週9便となり、関東向けは九州最多となりました。地区南部においては、大分キャノン(株)や大分キャノンマテリアル(株)などが操業を開始し、活況のある地区へ変貌を遂げています。

### 鶴崎地区



鶴崎地区はENEOS(株)や昭和電工(株)など、多くのコンビニエンスストア企業が立地しており、西日本有数の工業地帯です。一方、施設園芸も盛んであり、大葉、みつば、パセリ、キュウリ、ニラなどが盛んに栽培されています。また、地区南部においては、郊外型の大型商業施設の集積が進んでいます。

### 佐賀関地区



佐賀関地区は三方を海に囲まれ、北側には豊予海峡を臨む西日本屈指の漁港である佐賀関漁港を有しており、この港で水揚げされるアジ、サバだけが「関あじ」「関さば」として認められています。一方で、JX金属製錬(株)佐賀関製錬所の鉱石受入や製品出荷用の岸壁などがあり、漁業だけでなく、工業も地区の産業として大きな役割を果たしています。